



医療法人社団 仁徳会

くなが病院

Doctor's Topics

ドクターズ・トピックス

vol.13
2025

ラパロ（腹腔鏡）で
広がる治療



さらなる安心を提供できるように

さてようやく新病院にむけて関係する機関への調整も大詰めを迎えてまいりました。当初予定していた時期より少し遅れてしまいそうですが、いよいよ建設に向けて話が進み、身の引き締まる思いをしております。

病院自身の取り組みといたしましても、救急科に関しましては昨年1月より土井先生にお越し頂き、また4月より救急対応室を設置し、結果的に昨年は例年に比べ大幅な救急応需となりました。改めてたつの市における救急医療の重要性と責任を感じております。



その他にも、昨年6月より循環器内科の野田先生、本年3月に消化器外科の濱田先生、5月に消化器内科の佐野先生、また8月から麻酔科の浦田先生にお越しいただき、以前から当院にて勤務いただいております平川先生に医局長として常勤医としてお迎えし、救急だけでなく他の診療に関しても順調に充実が図れています。

特に、消化器外科と麻酔科の先生にお越しいただいたことにより腹腔鏡を中心とした消化器外科の手術も行うことができるようになり、これからの地域医療に大きく資することができるものと喜んでおります。

また、今回のドクターズトピックスにて特集を組んでおります、睡眠時無呼吸症候群・糖尿病・整形外科疾患に関しましても強化しております。

新病院に向け、さらに多数の医師数名のご応募も頂いており、たつの市において必要な医療をできるだけ充実させ市民の皆様に喜んで頂けるよう頑張っていく所存です。

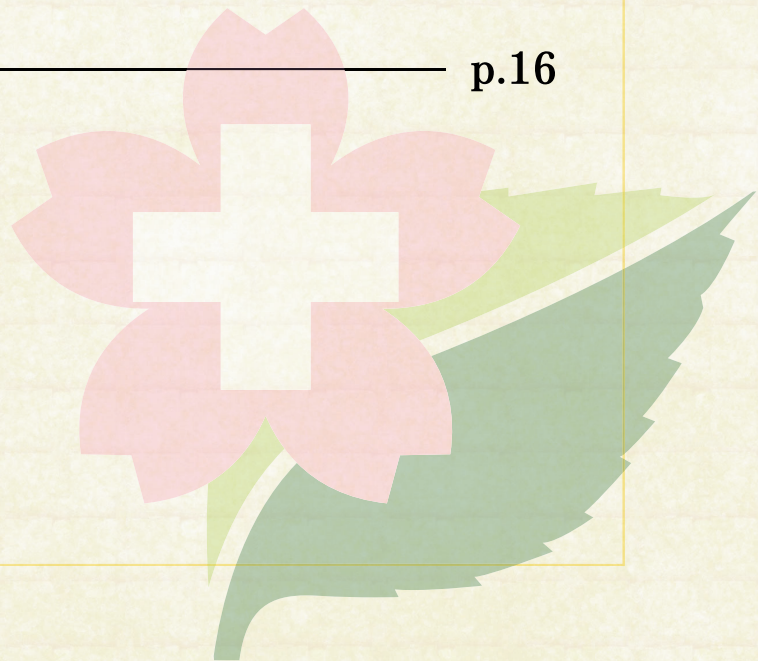
新規事業に関しては、地域や関係各位との許可や調整、建築費や物価高騰もあり、決して前途洋々な事業ではありませんが、我々が与えられた使命を全うすべく誠心誠意取り組んで参る所存です。

どうかご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

医療法人社団 仁徳会
理事 徳永 憲威

CONTENTS

ご挨拶	_____	p.2
医師紹介	_____	p.4
お知らせ	_____	p.7
ラパロ(腹腔鏡)始動！	_____	p.8
救急科NEWS 「断らない救急」の実現に向けて	_____	p.10
睡眠時無呼吸症候群 生活習慣病の親玉を退治しよう	_____	p.12
2025年の糖尿病治療 治すから支える医療へ	_____	p.14
整形外科へご相談 こんな症状ありませんか？	_____	p.15
外来担当表	_____	p.16





新任医師のご紹介

さらに安心して医療を受けていただけるよう、体制強化のためとくなが病院へ新たに4名の先生方がご入局されました。

MAKOTO HIRAKAWA

平川誠医師

脳神経内科
金沢医科大学卒



こんにちは、はじめまして4月入職の平川と申します。

常勤医としては4月からになりますが、当院では一昨年の4月より非常勤で勤務しており、足掛け3年目になります。

当時はまだ救急応需の体制も現状のレベルではなく、医師の絶対数も少なかったことより隔世の感があります。私の内科医としてのサブスペシャリティは脳神経内科ですが、当院の院長が脳の変性疾患を中心に診ているのに対し、脱髄疾患など脊髄から末梢神経の領域がメインでした。過去形になっているのは、数年来、総合診療として外来診療に携わっており、どちらかといえば「神経も診られる内科医」になっています。大学の脳神経内科の医局では推奨されないスタンスですが、日常診療においては来院される患者さんに幅広く対応する姿勢は大切なのではないかと思います。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願い致します。

TORU HAMADA

濱田徹医師

消化器外科
島根大学医学部卒



2025年3月から外科、消化器内視鏡検査、総合診療/救急外来を担当させて頂いております。今までの外科医としての臨床経験を生かして間口は広く、敷居の低い診療を心掛けて参ります。何卒よろしくお願い致します。

YOSHIAKI URATA

浦田義明医師

麻酔科

東京医科歯科大学
(現・東京科学大学)卒



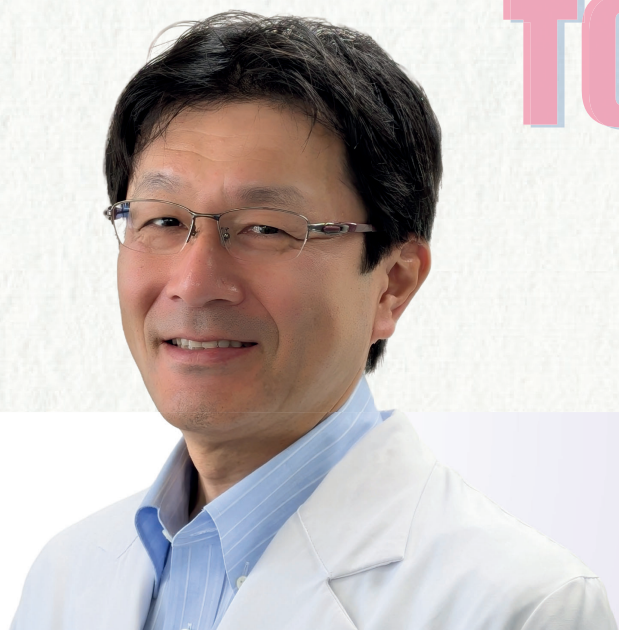
令和7年8月より、とくなが病院麻酔科に赴任しました浦田義明(うらたよしあき)と申します。私は東京医科歯科大学(現・東京科学大学)医学部を卒業後、東京医科歯科大学附属病院、国立がんセンター中央病院等で研鑽を積んでまいりました。約20年前に出身地である関西地方に戻ってきてからは、主に救急・急性期病院に勤務し緊急手術にも積極的に対応してきました。今後は、手術件数の増加などの形でたつの市の地域医療の充実に貢献してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

TOMOHide SANO

佐野智英医師

消化器内科

神戸大学医学部卒



この6月からお世話になっている佐野智英と申します。平成7年神戸大学を卒業し消化器外科医としてスタートしましたが、去年まで17年半、相生市民病院で院長として内科の診療をしておりました。昨年1年間は温泉や富士の絶景を求め、以前から大好きだった伊豆の小病院で院長・施設長として働きました。昨今の情勢では小病院のかじ取りは非常に難しく、収支や人事に頭を悩ませる生活に疲れを感じ、心機一転久々に一兵卒として働いてみようと思い立ち当院にご縁をいただきました。今まで年季の入った建物で働いてきたので、当院に近々移転新築の予定があることも魅力的でした。

現在当グループの揖保診療所で水木金の午前の診察をし、とくなが病院では当直や往診、内視鏡検査を担当しています。久々に他科のDrや年長のDrと共に働くことになり、刺激を受け勉強させていただいています。30年選手になりましたが、まだまだ未熟だと感じています。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶・目次

医師紹介

お知らせ

ラパロ始動!

救急科ニュース

睡眠時
無呼吸症候群

糖尿病治療
最前線

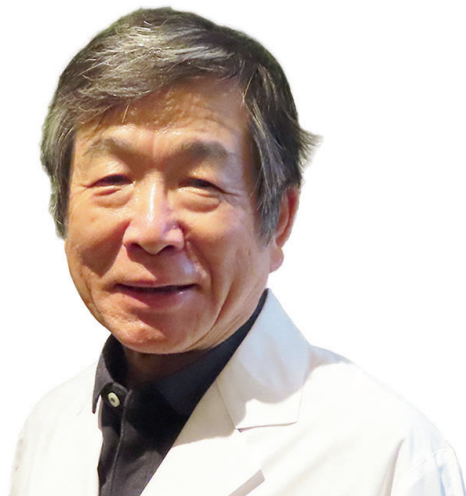
整形外科に
ご相談を



医療法人社団 仁徳会

とくなが病院

医師のご紹介



院長

横山和正医師

脳神経内科

略歴

神戸大学医学部卒

専門分野

脳神経内科

仁徳会とくなが病院は、開院以来地域を支え、また支えられて、たつの市や西播磨地域に良質な医療サービスの提供に努力してまいりましたが、今後も関連施設とともに地元に必要な医療・福祉を地域の皆様と共に考え歩み、実現していくことを理事長以下職員一同一眼となって決意する次第です。



整形外科 整形外科部長

振角和利医師

略歴

愛媛大学医学部卒

専門分野

・外傷・上肢

当院に着任してから7年が経過しました。この間、様々な救急や手術を対応させて頂きました。今後もより一層、地域医療に貢献できるよう頑張ります。

高齢化社会において骨粗鬆症による骨折は増加しています。一度骨折を起こすと、その後、著しく社会生活が損なわれることがあり、骨折の予防、すなわち骨粗鬆症の予防や治療が重要です。気になる方はお気軽にお越し下さい。



内科

高橋邦雄医師

略歴

徳島大学医学部卒

岡山大学第三内科入局

専門分野

・糖尿病 ・代謝内分泌内科
・腎臓病内科

一昨年8月より勤務させて頂く事になりました。21年目の内科医です。専門分野は糖尿病・腎臓病・脂質異常症ですが心疾患、脳血管、感染症など内科全般に携わってきました。

その他栄養管理やリハビリテーションとも長く関わっておりますので、各種専門スタッフとも連携し、チーム医療で質の高い医療を提供して地域に貢献していきたいと思っております。宜しくお願い致します。



総合診療・外科・救急科

土井正太郎医師

略歴

大阪市立大学医学部卒

専門分野

・一般外科 ・心臓血管外科
・集中治療科

2024年1月からとくなが病院で常勤勤務することになりました。土井正太郎（どいまさたろう）と申します。専門は心臓血管外科ですが、集中治療分野、救急分野、一般外科、一般内科と幅広く携わってまいりました。これまで1000件以上の手術を経験し、500件以上の執刀を経験しました。私の使命はとくなが病院における救急医療・集中治療の更なる向上です。地域医療に少しでも貢献出来ればと思いますので今後とも宜しくお願いいたします。



循環器内科

野田信一医師

略歴

京都府立医科大学

専門分野

循環器内科

2024年6月より当院に勤務させて頂いています。循環器疾患を中心に診療しています。循環器疾患については、以前は超急性期の診療にも携わっていましたが、最近は慢性期の診療が主となっています。又、ここ20年程は当院と同様の状況の病院に勤務しており、循環器疾患以外の様々な疾患の初期診断を行い、それに基づき必要な対応を行うことで地域医療に貢献してまいりました。当院においてもそのような経験を元に、当地域の皆様のお役に立つように診療に励む所存であります。何卒よろしくお願い致します。

TOPICS1

地元地域の医療に“さらなる安心”を。

令和9年10月
とくなが病院
新築移転



TOPICS2

医療ニーズに応え、質の高い医療を。

この度、当院では地域医療ニーズへの対応と医療サービスの質向上を目的として、病棟機能変更を実施致しました。

■主な変更内容

- 【変更前】 3F 一般病棟56床
(一般病床31床 地域包括ケア病床25床)
2F 療養病棟53床
【変更後】 3F 一般病棟56床
2F 地域包括ケア病棟53床



地域包括ケア病床では、在宅復帰支援・リハビリ強化・多職種による支援体制の充実を図り、患者様が安心して地域やご家庭へ戻れるよう、よりきめ細やかな医療・看護を提供してまいります。

今後も引き続き地域の入院受け入れ体制を強化し、在宅復帰支援により一層取り組んで参りますので、ご理解の程お願い申し上げます。



医療法人社団 仁徳会

とくなが病院

〒679-4109

兵庫県たつの市神岡町東鷺崎字鍵田473-5

TEL0791-65-2232

FAX0791-65-2235

ラパロ (腹腔鏡) 始動!



ラパロ（腹腔鏡手術）とは

全身麻酔下で体に小さな穴を複数開け、鉗子と呼ばれる特殊な器具とカメラとモニターを使用して行う外科手術の一種です。

従来の開腹手術に比べ、傷が小さいため体への負担が少なく、術後の回復が早いのが特徴です。

腹腔鏡手術ではガス(二酸化炭素)をおなかの中に注入し、膨らまして手術を行います。

手術中に注入された二酸化炭素は体内で自然に吸収し排泄されます。

よく行われる鼠径ヘルニア(脱腸)であれば穴を3か所あけて1時間程度の手術となります。



傷口の写真

腹腔鏡手術の外科適応疾患

以下のような疾患で腹腔鏡手術が行われることが一般的です。

胆石症や胆嚢炎

急性虫垂炎

消化管穿孔

鼠径ヘルニア（脱腸）

腸閉塞

消化器がん（胃や大腸など）



腹腔鏡手術のメリット

傷口が小さい

腹腔鏡手術では、通常5mm-2cm程度の小さな穴を数箇所開けることで手術が可能です。そのため、術後の傷跡が目立ちにくくなります。

痛みが少ない

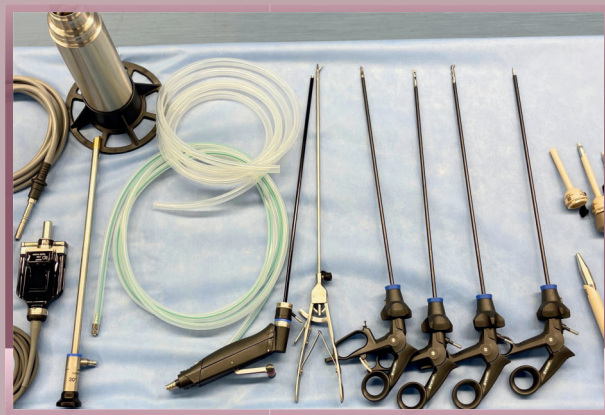
傷口は複数になることが多いですが、一つ一つが小さな傷口のため、術後の痛みが開腹手術より少ないとされています。

感染リスクが低い

小さな傷のため治りが早く、術後の感染リスクが軽減されます。

より細かい手術が可能

カメラでおなかの中を観察しながら手術を行うため、開腹手術よりも患部の近くに寄ることができ、細かい血管などをモニターで確認しながら安全に手術ができます。



腹腔鏡手術のデメリット

手術時間が長い場合がある

高度な技術を必要とするため、開腹手術に比べて手術時間が長くなる場合があります。

開腹手術へ変更となる場合がある

以前におなかの手術を受けられた方は、おなかの壁と腸などがくっつく“癒着”が起きることが多く、これによってカメラでの観察が妨げられ、安全に手術を行うことができず途中で開腹手術へ変更となることがあります。

肺が悪い際には使用できない場合がある

ガス（二酸化炭素）でおなかを膨らませるとおなかの中から胸が圧迫されます。その結果、肺が膨らむスペースが減ります。喫煙や肺の病気などでもともと肺が悪い場合には十分な酸素が取り込めなくなる危険性があり術後合併症のリスクが上がります。

現在のところ当院外科での
腹腔鏡手術の適応疾患は鼠径ヘルニア、胆石症、虫垂炎などの良性疾患のみとしており、
 消化器がんに関しましては抗がん剤治療を受けていただくことも多いため従来どおり
 近隣の医療機関へご紹介させていただきます。
 これからも地域の皆様が安心してとくなが病院で手術を受けていただけるように、
 一同努めて参りますので、何卒宜しくお願い致します。

「断らない救急」の実現に向けて

救急科



救急科

土井正太郎

2024年2月に救急科を設立してから、早くも1年半が経過しました。私たちは地域医療へのさらなる貢献を目指し、日々救急診療に取り組んでまいりました。

この機会に、これまでの取り組みを振り返りご報告いたします。



救急車応需率について

救急医療における「救急車応需率」は、要請に対して実際にどれだけの救急車を受け入れたかを示す重要な指標です。

この数値の向上には、診療体制の整備、診断効率の向上、病棟や他科の協力体制など、様々な要素が関与します。一般的には高い応需率が望ましいとされています。

たつの市内の救急指定病院の平均応需率は、2023年時点で40～50%とされています。

当院(とくなが病院)においては、救急科設立前年度の応需率が49.4%(要請数468件中、応需231件)でした。月平均では約21件の救急車を受け入れていました。



救急科設立後の救急応需実績

【とくなが病院救急科の取り組み成果】

救急車搬送の「受け入れ実績」は、確実に伸びています！

年度	救急要請件数	救急車受け入れ件数	応需率
2023年	468件	231件	49.4%
2024年	1,000件	689件	68.9%
2025年 (1月～7月)	1,093件	848件	77.5%(現時点)

この3年で救急搬送の受け入れ件数は約6.5倍に！
※2025年は、年間1,400件超えのペースで推移中。

「断らない救急」の実現に向けて

応需率は2023年の49.4%から、2025年には77.5%へと大幅に上昇。
救急車搬送を「断らない」姿勢が、地域の信頼と安心を支えています。

✓ 地域の救急を支える、確かな実績。

✓ 今後も、どんな患者さまもできる限り受け入れる体制を強化してまいります。



2024年7月には、月間**142**件と過去最多の救急車を受け入れました。

地域における救急医療ニーズの高まりを強く感じており、その期待に応えるべく、
今後も全力を尽くす所存です。

なお、私自身(救急科医師・土井)の救急車応需率は**95**%を超えており、自身の責任
と覚悟を持って、原則すべての搬送要請に対応しております。一部受け入れ困難であ
った症例は、満床や明確な高次医療機関での治療が必要な症例に限られております。

「断らない救急」への取り組み

現代医療では、専門領域以外の診療に消極的な風潮が強く、「救急車を断らない医療」が非常識と
されがちです。特に西播磨地域では長年にわたる医療資源の不足により、搬送先が決まらずたら
い回しになる事例が多発してきました。そうした中で、私は「断らない救急」を掲げ、真正面から
地域の救急医療と向き合っています。

この姿勢には当然リスクも伴いますが、スタッフの支えのもと、これまで高い応需率を維持でき
ております。大きなトラブルもなく取り組んでいます。

最近では、姫路市の大規模病院で受け入れ困難となった症例を、当院に搬送依頼されるケースが
増えております。かつて高次医療を全面的に姫路に依存していた当院が、逆に地域医療の一端を
担えていることを嬉しく思います。搬送された患者様は全員無事に回復され、地元に戻られてお
ります。

今後の展望

救急搬送の積極的な受け入れは、病院・医療スタッフにとって以下のような多くの利点があります。

- 1 地域からの信頼向上
- 2 各種認定取得への道（地域医療支援病院など）
- 3 スタッフのスキルと経験向上
- 4 地域医療体制の強化



これらの要素が連動し、当院は2024年、たつの市内の医療機関で最多の救急車応需数を記録しました。
2025年は年間**1,500**件超えを目標に、引き続き努力してまいります。

おわりに

とくなが病院への救急搬送数の増加は、地域の皆様からの信頼とご期待の表れです。
今後も医療の質をさらに向上させるべく、医療スタッフ一同、日々研鑽を重ね、地域に根ざした
救急医療の提供を続けてまいります。

睡眠時無呼吸症候群

生活習慣病の親玉を退治しよう



「いびきが大きい」「寝ている間に呼吸が止まっていると言われた」「昼間に強い眠気がある」
——これらは睡眠時無呼吸症候群（SAS）の代表的なサインです。

SASは"夜だけの出来事"に見えますが、実は高血圧・糖尿病・脂質異常・心臓病・脳卒中など、
いわゆる生活習慣病を裏であおる"親玉"のような存在。放置すると体に大きな負担をかけ続けます。

治療が必要な4つの理由

血圧が 上がる

無呼吸のたびに酸素が不足し、
交感神経が緊張。夜間の血圧上昇が
続き、高血圧が下がりにくくなります。

心臓・血管に 負担

心房細動などの不整脈、心不全、
動脈硬化のリスクが高まります。

代謝が 悪化

睡眠の質の低下は血糖
コントロールを乱し、体重も
増えやすくします。

日中の眠気 集中力低下

交通事故や労災リスク、仕事や
学業のパフォーマンス低下にも
直結します。

こんな症状があれば要注意

- ✓ 大きないびき／呼吸が止まる・むせる
- ✓ 朝の頭痛、のどの渇き、夜間頻尿
- ✓ 日中の強い眠気、だるさ、集中力低下
- ✓ 体重増加、首回りが太い・舌が大きいと言われる

ひとつでも当てはまる方は、
まずご相談を。

当院では、自宅でできる
簡易検査（装置を一晩装着）での
検査が可能です。

治療すると何が良くなる？

- ➡ ぐっすり眠れて、朝スッキリ
- ➡ 血圧や血糖が安定しやすい
(お薬が効きやすくなることも)
- ➡ 心血管イベントのリスク低減が期待
- ➡ 心房細動にならない・治りやすくなる
- ➡ 仕事や運転中の眠気・ミスが減る



主な治療法

01

CPAP (シーパップ)

鼻マスクから空気を送り、
気道の閉塞を防ぐ標準治療。
慣れるコツ(マスク合わせ、
加湿、"まずは毎晩4時間以
上")を支援します。

02

マウスピース (口腔内装置)

軽症～中等症やCPAP
が合わない方向け。

03

生活習慣の 見直し

睡眠の質の低下は血糖
コントロールを乱し、
体重も増えやすくなります。

04

鼻・のど の手術

形態的な閉塞が強い
場合に検討します。

今日からできる3つの一歩



就寝3時間前
はお酒を控える



横向き寝を意
識(抱き枕も有効)



週150分の中等
度運動(早歩き
など)を目標に

睡眠時無呼吸症候群は"見えにくい病気"ですが、治療すれば変わります。
気になるサインがある方、検査や機器に不安がある方も、
どうぞ遠慮なく当院にご相談ください。

生活習慣病の「親玉」を退治して、日中の元気と将来の健康を守りましょう！

～治すから支える医療へ～

2025年の糖尿病治療

いま、日本では糖尿病を抱える人が1000万人以上いると言われています。予備軍を含めると更に倍以上になります。

糖尿病は「血糖値が高い」病気と思われがちですが、放っておくと目や腎臓、心臓などにダメージが出てしまうことがあり、早めの対策がとても大切です。

2025年現在、大きく進歩した糖尿病治療

昔は「とにかく血糖値を下げること」が中心でしたが、今は「合併症を防ぎ、元気に長く生きる」ことを目標にしています。

特にここ数年で注目されているのが、「SGLT2阻害薬」や「GLP-1受容体作動薬」という新しいタイプのお薬です。これらは、血糖値を下げるだけでなく、心臓病や腎臓病のリスクを減らす効果もあることがわかってきました。さらに、体重を減らす働きもあるので、肥満がある方にも役立っています。



進化する治療法

01

デジタル技術の発達

指先からの血糖チェックが苦手な方には、体にセンサーをつけて24時間血糖をモニターできる機器（CGM）が広がっています。そのほかスマートインスリンペンなどのデジタル技術も発達しており、希望される場合は個々人のスマホとも連動可能です。

02

増える選択肢と軽減する治療負担

今や血糖の動きが「見える化」され、生活の工夫や薬の調整も容易になってきました。また、週1回の注射だけで済む薬や、飲み薬の選択肢も増え、治療の負担が少なくなってきたのも大きな変化です。

03

生活習慣改善の重要性

糖尿病の基本は今も昔も同じです。食事、運動、生活習慣の改善が、治療の土台になります。新しい薬や機器はあくまでサポート役。毎日の生活の中で、無理なく続けられる工夫がとても大切です。

ひとりひとりに合った治療で健康的な生活を

糖尿病は「きちんと付き合えば怖くない病気」です。治すことを目指すというより、うまくコントロールして、安心して暮らしていくことができる時代になりました。

これからも、ひとりひとりに合った治療を一緒に考えながら、皆様の健康を支えていければと思います

当院の、特に外来診療では多彩な治療薬やデバイスを提供できる準備がございします。

健診で糖尿病を指摘された方、予備軍と言われている方、他院での治療中に挫折してしまった方、どんな方もお気軽にご相談下さい！



内科 高橋邦雄医師

整形外科

運動器官を構成する全ての組織(骨・軟骨・筋・靱帯・神経等)の疾病・外傷を対象とした診療を行います。

当院の整形外科は月曜日から土曜日と診察日があり、患者様にもより受診して頂きやすくなっています。

また、外来診療のみならず手術においても四肢の骨折を中心に対応させていただきます。お気軽にご相談ください。



こんなお悩みありませんか？

- ☒ 肩・膝・腰が痛い
- ☒ 骨折全般
- ☒ 関節痛
- ☒ 打撲、捻挫
- ☒ 手・足がしびれる
- ☒ 外傷全般切り傷、擦り傷、刺し傷など

少しでも気になる方は「整形外科」の受診をおすすめします

手術とリハビリについて

ケガや転倒によって骨折された方は必要に応じて入院していただき手術を行っています。また、早期にリハビリを開始し、入院前の生活へ戻っていただくことを目標に取り組んでいます。

対応可能な手術の例 大腿骨・足首など下肢の骨折、肩・手首などの上肢の骨折、その他



手術後は元々の症状や手術による身体機能や動作能力の低下が出現してしまいます。患者様の身体機能の回復の為に術後のリハビリは非常に重要です。

当院では早ければ術後翌日にリハビリを開始し早く元の生活へ戻れるようにサポートしています。退院後も継続してリハビリが必要であると医師が判断した場合は、外来で引き続きリハビリを行っています。

骨粗鬆症について

骨粗鬆症とは加齢や栄養バランスの偏りや遺伝、生活習慣などによって「骨が弱くなり、骨折しやすくなる」病気です。高齢者では骨がもろくなり骨折を引き起こすことが多いため骨粗鬆症の治療にも力を入れております。

外来医師担当表

			内科	総合診療	整形外科	脳神経内科	健診	
			月	火	水	木	金	土
午前診	9時～12時	1診	振角 (整形外科)	振角 (整形外科)	振角 (整形外科)	担当医 (整形外科)	振角 (整形外科)	担当医 9:30～ (整形外科)
		2診	高橋 (内科)	高橋 (内科)	土井 (総合診療) (外科)	高橋 (内科)	土井 (総合診療) (外科)	土井 (総合診療) (外科)
		3診	濱田 (総合診療) (外科)	平川 (総合診療)	平川 (総合診療)	濱田 (総合診療) (外科)	濱田 (総合診療) (外科)	平川 (総合診療)
			健診 (予約制)	健診 (予約制)	健診 (予約制)	健診 (予約制)	健診 (予約制)	健診 (予約制)
午後診	14時～16時半	2診	横山 (脳神経内科)	横山 (脳神経内科)				
夜診	17時～19時		濱田 (総合診療) (外科)	振角 (整形外科)	土井 (総合診療) (外科)	高橋 (内科)	野田 (内科)	
			健診 (予約制)	平川 (総合診療)	健診 (予約制)	健診 (予約制)	健診 (予約制)	

＜受付時間＞【午前診】8:00～12:00迄【午後診】13:30～16:00迄【夜診】16:30～18:30迄
※受付時間以外の診療は時間外対応

			月	火	水	木	金	土
検 査	胃・十二指腸内視鏡検査（午前）		濱田		濱田	濱田	濱田	佐野
	大腸内視鏡検査（午後）		濱田		佐野			
	超音波検査 心臓・腹部・他		検査科	検査科	検査科	検査科	検査科	検査科
リ ハ ビ リ	運動療法（予約制） 物理療法	午前診	○	○	○	—	○	—
		夜診	○	○	—	—	○	—



医療法人社団 仁徳会

くなが病院

〒679-4109

兵庫県たつの市神岡町東鷺崎字鍵田473-5

TEL0791-65-2232

FAX0791-65-2235